



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

## 2012年3月号

### 「主題」

- 国際会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」  
 アジア地域会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」  
 西日本区理事 : 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」  
 中部部長 : 「まず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」  
 プラザクラブ会長 : 「ワイズなワイズになろう」

【EF・JWF=個人や家族、またクラブの周年などを記念して、ワイズダムの発展のため、感謝の気持ちを献金という形であらわしましょう。】

### 3月例会および今後の予定案内

#### 【3月第1例会 (南山・グランパス合同例会)】

日時: 3月8日 (木)・集合18:15 開会18:45

場所: 名古屋YMCA3F会議室

内容: 卓話「堀川1000人調査隊の活動」

講師: 服部 宏氏

会費: 1000円/人(食事代)

#### 【3月第2例会】

日時: 3月22日 (木)・18:45-

場所: 名古屋YMCA会議室

内容: 次月例会打ち合わせ

出席義務者: 役員 (大島・櫛田・後藤)

4月担当者 (櫛田・後藤)

5月担当者 (後藤・大島)

#### 【今後の予定】

##### 1. 中部評議会

日時: 3月20日 (火・祝) 13:30-

場所: 名古屋YMCA3F会議室

##### 2. YYフォーラム

日時: 3月20日 (火・祝) 15:00-

場所: 名古屋YMCA3F会議室

##### 3. 第15回西日本区大会

1日目 6月9日 (土)・開会: 11:30

会場: 滋賀県立文化産業交流会館

懇親会: 19:00

会場: 長浜ロイヤルホテル

2日目 6月10日 (日)・開会: 9:15

会場: 長浜文化芸術会館

### 2月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
会長	大島 孝三郎	○	○			
	小澤 幸男	○				
書記	櫛田 守隆	○	○			
会計	後藤 猛	○	○			
直前会長	島崎 正剛	○				
	鈴木 誉三	○				
副会長	高田 廣	○	○			
	常盤 眞理子		○			
連絡主事	万福寺 昭美	○	○			
課外活動	①	-----				
	②	-----				
	③	-----				
	④	-----				
	⑤	-----				
出席率・%					100.0	
1. ニコボックス						
2. オークション						
当月合計/累計					5500	
4月号ブリテンの寄稿者は後藤さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp						
5月号・常盤/6月号・万福寺/7月号・小澤						

EF=Endowment Fund(信託基金)

JWF=Japan West Y's Men's Fund(西日本ワイズ基金)

## 2月第1例会報告(敬称略)

日時: 2月9日(木)・18:30-21:30

場所: 名古屋 YMCA

### 1. 次期クラブ役員案・高田

会長 高田 廣  
副会長 小澤 幸男  
書記 櫛田 守隆  
会計(プラザファンド) 保留

その他役員は今期通り(留任)とする。

### 2. 西日本区大会参加者確認・大島

参加予定者6人 未定者2人 不参加者1人  
後藤さんは、ロイヤルホテル宿泊について個人的なコネあり。シングル7人分の宿泊予約ができるか、2月第2例会にその可否を報告のこと。

### 3. 他クラブの周年記念例会開催案内・大島

### 4. 中部部報配布・大島

### 5. 中部評議会、YYフォーラム・大島

出席・大島、高田

### 6. 3月第1例会・大島

南山、東海クラブに合同例会を打診する。→未回答

### 7. YMCA 連絡事項・万福寺

フィリピンワークキャンプ支援募金の協力要請に、各人が2口以上応ずる。

### 8. 懇親会(魚甚)



(酒も魚も美味しかったです インフルエンザの常盤さん残念)

## 2月第2例会報告(敬称略)

日時: 2月23日(木)・18:45-20:00

場所: 名古屋 YMCA 会議室

### 1. 3月第1例会・大島

南山・グランパスとの3クラブ合同例会とする。

日時・場所・内容・会費などは1面参照のこと。

#### (1) 費用

・卓話謝礼 15000円・3クラブ分担 5000円/クラブ

・借室料金 6000円・3クラブ分担 2000円/クラブ  
・会費 1000円/人・クラブメンバーおよびクラブゲスト分

以上はクラブ毎にまとめて当日プラザの会計係(後藤)に支払う。

#### (2) 名簿

ゲストを含めた出席者名簿は、クラブ毎に2月29日までプラザ連絡主事の万福寺に連絡する。

#### (3) 名札

ゲストを含むクラブメンバーの名札は、クラブ毎に作成し当日持参する。

(4) 出席者人数は、クラブ毎に3月3日まで万福寺に連絡する。もしそれ以降に欠席した場合は、人数分のキャンセル料(実費1000円)をいただく。

(5) 大島会長は当日の挨拶、開会宣言などの役割を各クラブの責任者と事前に打ち合わせをして、レジюмеを作成する。

#### (6) プラザクラブメンバーの集合時間

会場の設営その他の準備のため、通常より30分早めの18:15集合とする。

### 2. 西日本区大会宿泊先選定・後藤

ロイヤルホテル個人的なコネを使ってもリメリットなし。3月第2例会に人数を確定して、3月末日までに指定用紙にて申し込む。

### 3. 中部評議会・大島

出席: 大島・高田

### 4. YYフォーラム・大島

参加希望者は3月8日までYMCA東田にお申し込みください。費用は1000円/人です。

### 5. 次期役員決定・高田

会長 高田 廣  
副会長 小澤 幸男  
書記 櫛田 守隆  
会計 常盤 眞理子  
プラザファンド //  
直前会長 大島 孝三郎  
メール委員 //  
広報事業 櫛田 守隆  
ブリテン委員長 //  
HP委員 //  
副会計 後藤 猛  
会計監査 鈴木 誉三  
地域奉仕 //  
環境 //  
Yサ・ユース 小澤 幸男  
EMC 島崎 正剛  
連絡主事 万福寺 昭美

### 6. 第16回西日本区大会(2012-2013)・大島

実行委員にプラザから以下の方が選出された。

会場委員長 鈴木 誉三  
広報副委員長 島崎 正剛  
広報委員 大島 孝三郎  
企画委員・プログラム 高田 廣

7. 当選年賀ハガキの切手・大島

18枚収集。切手が当選された方は、3月第2例会までに持参ください。

8. 事業主任制度・大島

西日本区役員会で提出された事業主任制度の2減1増(委員会)案にプラザクラブは賛成する。

9. 長浜・彦根シャトークラブの記念例会案内・大島

10. 国際大会案内・大島

日時:2012年8月2日-5日  
場所:ノルウェー(スタンバンゲル)

11. 4月第1例会内・大島

卓話「文章の書き方」・担当:櫛田。

## 将棋の好きな孫の兄弟

小学4年生と2年生の男の子の孫とその両親の一家が正月に我が家に泊って行った。いつも来るなり、お爺ちゃん将棋やろう、やろうとせがむ。弟の方も兄の真似をして同じことを言う。数年前から色々なゲームの付き合いをさせられた。トランプの7並べ、ババ抜き、碁の5つ並べ、将棋・・・果てはマージャンまで。これらの中から将棋のことを書く。私も子供のころ、兄や友達と将棋をしていた。

孫は婿側の祖父から手ほどきを受けたいらしい。初めてのころは私が簡単に勝っていた。その後、兄の方は学校のトワイライトスクールの将棋部に入ってから急に強くなり、最近では5回のうち3~4回は孫の方が勝つ。今が私を相手にするのが丁度良い時のようである。逆に私の方はこのままでは面白くなり始めた。ちょうど彼らが帰った後に将棋の本が残されてあった。孫が忘れていったのだと思ったが、私の妻が彼らに買い与えたものであった。「はじめての将棋(羽生善治監修)」である。将棋はインド生まれの日本育ち。4,000年前の「チャトランガ」がヨーロッパへ伝わりチェスとなり、東方の果ての日本に伝わり改良されて現在の将棋となった。捕った敵の駒を使えるのが最大の特徴。これは日本の発明で、おかげで群を抜いて面白く奥深いゲームが誕生したとのことである。羽生先生も小学1年生のとき、大山康晴先生の「親と子の将棋教室」がバイブルで、「飽きることなく一人で本の通りに駒を並べる毎日でした。」と書いておられる。私の覚えたころは、本も無く特に系統立てて教わったことも無く兄や友人と自然にゲームをするようになっていた。とこ

ろがこの本では当然のことながら、将棋についてのルールや、マナー、心構え、勝負の秘訣などが分かりやすく説かれている。

本の内容の項目を挙げてみよう。○81のマス目に40枚の駒が将棋の世界だ! ○将棋のマナーを守ってカッコよく指す。○各駒の動き方を覚えよう。駒の成り方のルール。○棋譜の見方を覚えよう。「引く」「行く」「成り」「成らず」「右、左、直ぐ、寄る、上がる」持ち駒を使った時は「打ち」など。○王手のかけ方。○詰ませ方でもむやみに王手をかけない。○小駒で詰まず。○開き王手で詰ます。○両王手で詰ます。○「禁じ手」は4種ある。○ルール違反は「二歩」、「行きどころのない駒」、「打ち歩詰め」、「連続王手の千日手」、「持ち将棋」○駒の価値は飛車を10点とすれば角は9点、金は6点、銀は5点、桂は4点、香は3点、歩は1点が交換の目安となる。○金の使い方、銀の使い方。○駒の特徴を発揮させる。○戦いの基本は「読み」、「詰める」、「しぼり」、「必至」、「詰める」。この他、「覚えて強くなる将棋用語」「覚えて強くなる将棋の格言」。

これらを読んで、私の腕もかなり上達したのではないかと思う。孫にこの本は良い本だねと言ったら、なんと「ぼくとは意見が合わない」という。どういふところがと問うたら「棒銀」は嫌いだという。私にはよくわからない。しかし何回も読みかえしたという孫の意見である。その生意気な物言いはむしろ脱帽すべきか。とにかく次の対戦でお互いの成長の結果を確かめてみたい。私もただ強くなるために読むのではなく、孫の弟の方の相手をする時に、適切な指導をするための道具にできればよいと思う。弟はまだ駒の動かし方が全部は分かっていない。その弟も兄のまねをして対局をせがんでくる。私はその相手でかなり疲れてくる。兄弟で対局すればと思うのだが兄の方は相手が弟では物足りなく面白くないし、弟も手心を加えてくれない兄とではまた面白くない。兄の方は押しが強く弟に出番を与えない。そのため弟は研修のチャンスが少なく、まだ本将棋でなく「廻り将棋」の方が好きな段階である。私は廻り将棋では疲れる。本将棋なら面白い。一番望ましいのは兄が弟を労りマナーを守り、弟に活躍の場を与え、弟も対等に勝負ができるように成長してもらおうことである。

(大島 孝三郎)

## 聖書の言葉

【王よ、あなたは一つの大きい像が、あなたの前に立っているのを見られました。その像は大きく、非常に光り輝いて、恐ろしい外観をもっていました。その像の頭は純金、胸と両腕とは銀、腹と、ももとは青銅、すね

は鉄、足の一部は鉄、一部は粘土です。あなたが見ておられたとき、一つの石が人手によらずに切り出されて、その像の鉄と粘土との足を撃ち、これを砕きました。こうして鉄と、粘土と、青銅と、銀と、金とはみな共に砕けて、夏の打ち場のもみがらのようになり、風に吹き払われて、あとかたもなくなりました。ところがその像を撃った石は、大きな山となって全地に満ちました。(旧約聖書ダニエル書 2. 31-35)】

【紀元前 597 年、バビロニア帝国はエルサルムを攻略、属国としたイスラエルからダニエルら有能な者たちを自国に強制移住させる。(第 1 次バビロン捕囚) ある夜、かつてエルサレムに入城したネブカデネザル王は不思議な夢を見て心がふさぎ眠れなかった。王は国内の呪術師など知者たちを集め、夢の内容を話さないで夢の意味を解き明かすように命じた。出来なければ彼らの手足を切り離し、家を滅ぼしてゴミの山にする、との理不尽さ、果ては高い報酬で優遇してきた知者たちが何もできないとは何事か、全ての知者を滅ぼし尽くせ、との命令を下す。王が見た夢とは、上記のダニエル書 2 章 31-35 節であり、以下 45 節まではその種明かしである。『そんな窮地を知らされたダニエルは、主たる神に祈り、王の見た夢とその解説を神からの知恵によって得たのです。この夢の解説は、バビロンをはじめとする、今後の世界帝国の行く末を予言しています。純金のバビロン帝国から四つの世界帝国が登場するが、天から切り出された「石」が打ち付けると、この像は粉々に滅んで、この像を打った石は全土に広まるといふものです。この最後に天からくだる石こそ天の神が興される神の御国です、人間による帝国は空しく滅び去りますが、神の御国こそ永遠に支配するのです。歴史はそのように向かって進んでいるのです。ちなみに四つの帝国とは、①純金の頭・バビロン帝国 ②銀の胸と両腕・ペルシャ帝国 ③青銅の腹と腿・ギリシャ帝国 ④鉄の脛と鉄と粘土が入り混じった足・ローマ帝国 のことです。』(asamana.blog.ocn.ne.jp/blog/2010/08/2\_ff7e.) 47 節では「王は、ダニエルに答えて言った。「あなたがこの秘密をあらわすことができたからには、まことにあなたの神は、神々の神、王たちの王、また秘密を表す方だ。」と、エルサレムを攻めた王は異教徒イスラエルの神をたたえている。】

【この聖句は、2 月 11 日付中日新聞のコラムの出だし『<馬脚を現す>に似た言葉は西洋にもあり、偶然<粘土の足>という。こちらは旧約聖書の中の話から出た成句で、立派だと思われた人が見せた、がっかりするような弱点を言うらしい。』が気になった。豚に真珠、狭き門、象牙の塔など聖書に由来する慣用句の中で、この言葉は初耳である。早速ネットで調べてみた。『現在は高い評価を受けている人物が、実はその名声を台無しにし

てしまうほどの隠れた弱み(欠点)を持っていること』とあり、コラム氏の説明通りだが、たとえに<馬脚を現す>「化けの皮がはがれる。芝居で人が馬の足のように見せていたのが、何かのはずみに足が見えてしまうこと。」(慣用句・ことわざ辞典 三省堂)とは少しニュアンスが違う。ここでは<脛に傷を持つ>「隠している過去の悪事があるって、心の内に弱点を感じているたとえ。やましいことがあることをいう。」(慣用句・ことわざ辞典 三省堂)の方が相応しい。】

## Z o o m ・ 町中の限界集落

10 年ほど前から、わが家の周辺の景色が変わり始めた。雑木林と畑が点在する丘陵地帯だったこの地に、戦禍による深刻な住宅難を解消するため、市は昭和 23 年ごろ木造一戸建ての分譲住宅を急ごしらえで造った。わが家がここに越してきた昭和 34 年には、主要道路の整備は終えていたが、生活道路は未舗装で大雨が降ると、急な坂道の轍を伝って雨水が谷川のように流れた。◆この頃に居を構えた親は、戦中・戦後生まれの子どもと住み、その子ども、いわゆる三代目は、ここを離れたまま帰ってこない。初代はとっくに亡くなり、二代目は夫婦二人か一人暮らしを強いられる。いつしか、わが家の脇を通る道路 200 メートルほどの両側は、高齢者夫婦か独居老人が住む町並みで、口さがない年寄り自嘲気味に「じじばば通り」という。こうなると二代目は、子ども家族を呼び戻して一緒に住むか、子どものお世話になるか、家を売ってどこかに移り住むか、である。子どもが帰れば、二世帯住宅にリフォームするか建て替える、売ればそこに新しい家が建つ、いずれにしても洋風の洒落た家が並び景色が徐々に変わってきた。◆5 年前、お向かいの奥さんが、近くのマンションに引っ越ししますので遊びに来てください、と挨拶に見えた。半年前喉頭がんでご主人に先立たれ「嫁いだ一人娘は戻らないし、大きな家に一人住まいは寂しい」と問わず語りに話され、小さく笑いながらお帰りになった。その 3 ヶ月後、鉄筋 2 階建ての立派なお屋敷とお庭は更地にされ、200 坪の跡地に 3 軒の洋風分譲住宅が建った。◆『住民の 50%以上が 65 歳以上で冠婚葬祭など共同体としての機能を果たせなくなり、維持が限界に近づいている山間部の集落』を限界集落という。わが〇〇南 3-1 町内会は、一人住まいの高齢者 5 世帯 4 戸、二人住まいの高齢者 4 世帯 4 戸、50 歳の子どもと住む高齢者 1 世帯 1 戸、合計 10 世帯 9 戸、15 人の住民構成、平均年齢は 75 歳を超える「町中の超限界集落」である。近所付き合いが希薄な都市部では、誰に看取られることもなく、亡くなった後に発見される「孤独死」が身近になってきた。